

【カリキュラムマップ作成方法】  
 科目の到達目標を達成した際、学生に身につけて欲しい資質・能力に「◎」「●」を付けてください。  
 1) 「◎」は、科目を履修した際、必ず身につけて欲しい資質・能力、1項目に付ける。  
 2) 「●」は、科目を履修した際、身につけて欲しい資質・能力、4項目以内に付ける。

区分	授業科目	単位	履修区分	1年次		2年次		3年次		4年次		DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP3(2)	DP3(3)	DP3(4)	DP3(5)	
				前	後	前	後	前	後	前	後	専門知識	多文化・異文化理解	問題解決力	情報リテラシー、論理的思考、数量スキル	市民としての社会的責任、倫理観	チームワーク、リーダーシップ	コミュニケーション・スキル	生涯学習力	自己管理能力	
				保育・教育や子どもの発達に関する知識・技能を修得し、実践や理論を踏まえ、子どもと家族や同僚等に対して、適切で効果的な援助・支援を展開できる能力 現代の子どもや家族などがおかれた状況や社会的背景を深く理解し、子どもが持続可能な社会で健康に育つためのケアや学びを支えることができる能力 子どもを育ちを取り巻く社会や自然環境、健康などの状況を深く理解し、そこに発生する課題を自らの確に把握し、協働して解決する能力 獲得した知識や技能を基盤として、必要な情報を的確に収集し、数理的・論理的に判断することができる能力 同僚や保護者・地域の人々とともに、子どもが健康で、情操豊かに育ち、次代を担っていくことができるように連携・協働できる能力 地域社会の中で、子どもを取り巻く状況や支援を改善していくために、高い専門性を有し、中核的な役割を果たすことができる能力 子どもと家族、保育・教育機関などを取り巻く制度や多様な価値観を尊重し、コミュニケーションを円滑に進め、社会の中で協働したネットワークを構築する能力 多様化、複雑化する社会の中で、そこに存在する価値観や文化の違いを、社会や環境の持続性を包摂した視点で捉え、その解決に向けて活動できる能力 「食・緑・人」を基盤とした人間発達の専門家として、常に自己研鑽に努め、自らの可能性を高め続けられる能力																	
入門	子どもの発達と現代社会	2	◎	2								●	●		●	◎		●			
専門基礎科目	教育原理	2	◎	2										●					◎		
	保育原理	2	◎	2								◎	●								
子どもの心身	教育心理学	2	◎		2							◎	●	●	●						●
	教育と社会学	2						2				◎	●	●	●				◎		
	発達心理学	2	◎		2							◎	●	●	●						
	発達心理学Ⅰ	2		2								◎	●	●	●						
	発達心理学Ⅱ	2			2							◎	●	●	●		●				●
	子どもの理解と援助	1			1							◎	●	●	●		●				
	子ども家庭支援の心理学	2			2							◎	●	●	●				●		
	子どもの食と栄養	2			2							◎	●	●	●						
	子どもの保健	2			2							◎	●	●	●				●		
	子どもの健康と安全	1				1						◎	●	●	●		●				
	乳児保育Ⅰ	2				2						◎	●	●	●				●		
	乳児保育Ⅱ	1						1					◎	●	●				●		
	社会的養護Ⅰ	2			2								◎	●	●		●		●		
	社会的養護Ⅱ	1					1					●	●	●	●	◎	●		●		
	障害児保育	2					2					◎	●	●	●	●		●			
臨床心理学	2			2									◎	●	●		●		●		
幼児理解	2					2					◎	●	●	●							
教育相談	2					2															
子どもと地域	子どもと地域	2	◎	2									●		◎		●	●			
	子ども支援地域活動Ⅰ	1		1											◎		●	●		●	
	子ども支援地域活動Ⅱ	1			1										◎		●	●		●	
	子どもと手作り遊び	2			2								●	◎	●			●		●	
	子育て家庭支援論	2					2					◎	●	●	●			●			
	子ども家庭支援論	2					2					◎	●	●	●			●			
	子ども家庭福祉	2			2							●	●	●	●		◎	●		●	
	社会福祉	2		2								●	●	●	●			●		◎	
	子育て支援	1				1									●		◎	●		●	
	園芸療法論	2					2					●	●	●	●	◎					
子どもと自然環境	園芸療法実習	2				2									◎		●	●		●	●
	生涯学習概論	2						2			●	●	●	●	●		●	●		◎	●
	子どもと自然	2	◎	2							●	●	◎	●	●		●	●			
	子どもの野外レクリエーション	2			2						●	●	◎	●	●		●	●			
	E S D・環境教育論	2					2				●	●	◎	●	●		●	●			
	E S D・環境教育演習	2					2				●	●	◎	●	●		●	●		●	
	学校ピオトープ	2					2				●	●	◎	●	●		●	●			●
自然と昆虫	2					2								●			●		◎		
子どもと園芸	2			2							◎	●	●	●		●	●			●	
環境問題演習	2					2					●	◎	●	●		●	●			●	

区分	授業科目	単位	履修区分	1年次		2年次		3年次		4年次		専門知識	多文化・異文化理解	問題解決力	情報リテラシー、論理的思考、数量スキル	市民としての社会的責任、倫理観	チームワーク、リーダーシップ	コミュニケーション・スキル	生涯学習力	自己管理能力	
				前	後	前	後	前	後	前	後										
				保育・教育や子どもの発達に関する知識・技能を修得し、実践や理論を踏まえ、子どもと家族や同僚等に対して、適切で効果的な援助・支援を展開できる能力 現代の子どもや家族などがおかれた状況や社会的背景を深く理解し、子どもが持続可能な社会で健康に育つためのケアや学びを支えることができる能力 子どもの育ちを取り巻く社会や自然環境、健康などの状況を深く理解し、そこに発生する課題を自らの確に把握し、協働して解決する能力 獲得した知識や技能を基盤として、必要な情報を的確に収集し、数理的・論理的に判断することができる能力 同僚や保護者・地域の人々とともに、子どもが健康で、情操豊かに育ち、次代を担っていくことができるように連携・協働できる能力 地域社会の中で、子どもを取り巻く状況や支援を改善していくために、高い専門性を有し、中核的な役割を果たすことができる能力 子どもと家族、保育・教育機関などを取り巻く制度や多様な価値観を尊重し、コミュニケーションを円滑に進め、社会の中で協働したネットワークを構築する能力 多様化、複雑化する社会の中で、そこに存在する価値観や文化の違いを、社会や環境の持続性を包摂した視点で捉え、その解決に向けて活動できる能力 「食・緑・人」を基盤とした人間発達の専門家として、常に自己研鑽に努め、自らの可能性を高め続けられる能力																	
	自然緑地計画論	2						2				◎	●	●					●		
	保育者論	2		2								●			●		◎				
	教職概論	2	2										●		●		◎				
	保育・教育課程論	2		2								◎		●					●		
	保育の計画と評価	2		2								◎		●					●		
	教育課程論	2			2							◎		●					●		
	保育の方法と技術	2				2						◎		●		◎				●	
	教育の方法と技術	2				2						◎		●						●	
	保育内容総論	2			2							◎	●	●		●					
	保育内容指導法（環境）	2				2						◎	●	●					●		
	保育内容指導法（健康）	2				2						◎	●	●					●		
	保育内容指導法（言葉）	2				2						◎	●	●					●		
	保育内容指導法（音楽表現）	2				2		2				◎	●	●					●		
	保育内容指導法（造形表現）	2				2						◎	●	●					●	●	
	保育内容指導法（人間関係）	2				2						◎	●	●					●		
	ピアノ実技Ⅰ（基礎）	2		2								◎	●	●					●	●	
	ピアノ実技Ⅱ（応用）	2			2							◎	●	●					●	●	
	ピアノ実技Ⅲ（実践）	2				2						◎	●	●					●	●	
	器楽合奏・音楽療法演習	1						1				◎	●	●					●		
	図画工作演習	1						1				●	●	◎					●		
	幼児体育	2		2								◎	●	●					●		
子どもの保育と教育	国語	2			2							◎	●	●							
	社会	2			2							◎	●	◎	●	●			●		
	算数	2			2							◎	●	◎	●	●			●		
	理科	2			2							◎	●	◎	●	●			●		
	生活	2			2							◎	●	◎	●	●			●		
	家庭	2			2							◎	●	◎	●	●			●		
	音楽	2	2									◎	●	◎	●	●			●	●	
	図画工作	2		2								◎	●	◎	●	●			●		
	体育	2			2							◎	●	◎	●	●			●		
	英語	2				2						◎	●	◎	●	●			●		
	教科教育法（国語）	2				2						◎	●	◎	●	●			●		
	教科教育法（社会）	2				2						◎	●	◎	●	●			●		
	教科教育法（算数）	2				2						◎	●	◎	●	●			●		
	教科教育法（理科）	2					2					◎	●	◎	●	●			●		
	教科教育法（生活）	2				2						◎	●	◎	●	●			●		
	教科教育法（音楽）	2					2					◎	●	◎	●	●			●		
	教科教育法（図画工作）	2					2					◎	●	◎	●	●			●		
	教科教育法（家庭）	2					2					◎	●	◎	●	●			●		
	教科教育法（体育）	2					2					◎	●	◎	●	●			●		
	教科教育法（英語）	2					2					◎	●	◎	●	●			●		
	道徳教育の理論と指導法	2					2												●	◎	●
	特別支援教育	2			2								◎	●	◎	●	●			●	
	総合的な学習の時間の指導法	2						2					◎	●	◎	●	●			●	
	特別活動論	2						2					◎	●	◎	●	●			●	
	生徒指導・進路指導	2						2					◎	●	◎	●	●			◎	●
	キャリア教育演習	2						2					◎	●	◎	●	●			◎	●
教職実践演習（幼）	2							2					◎	◎	●					●	

区分	授業科目	単位	履修区分	1年次		2年次		3年次		4年次		専門知識	多文化・異文化理解	問題解決力	情報リテラシー、論理的思考、数量スキル	市民としての社会的責任、倫理観	チームワーク、リーダーシップ	コミュニケーション・スキル	生涯学習力	自己管理能力
				前	後	前	後	前	後	前	後									
				保育・教育実習		特別支援教育		ゼミナール		卒業研究										
	教職実践演習(小)	2								2	◎		●	●	●	●				
	保育実習指導Ⅰ	2						2			●	●	●	◎						
	保育実習指導Ⅱ	1							1				◎		●	●	●			
	保育実習指導Ⅲ	1							1		◎				●	●	●			
	保育実習ⅠA	2						2			●	●	◎							
	保育実習ⅠB	2							2		◎						●	●	●	
	保育実習Ⅱ	2								2			●		◎					
	保育実習Ⅲ	2								2		◎					●	●	●	
	観察実習(小)(事前事後指導含む)宮内	1				1					◎		●		●	●	●			
	観察実習(小)(事前事後指導含む)趙	1				1					●		◎					●	●	
	観察実習(保幼)(事前事後指導含む)	1				1					●		◎		●				●	
	介護等体験(事前事後指導含む)	1				1					●		●			◎				
	教育実習Ⅰ(小)事前事後指導	1						1			◎		●		●	●				
	教育実習Ⅰ(幼)事前事後指導	1						1			◎		●		●	●				
	教育実習Ⅰ(小)	4						4			◎		●		●	●				
	教育実習Ⅰ(幼)	4						4			◎		●		●	●				●
	教育実習Ⅱ(小)事前事後指導	1							1		◎		●		●	●				
	教育実習Ⅱ(幼)事前事後指導	1							1		◎		●		●	●				
	教育実習Ⅱ(小)	2							2		◎		●		●	●				
	教育実習Ⅱ(幼)	2							2		◎		●		●	●				●
	特別支援教育総論	2		2							◎		●		●	●				●
	障害児教育入門	2	2								◎		●		◎		●			●
	知的障害児の心理・生理・病理	2				2					◎		●		●	●				
	知的障害児の心理と発達支援	2					2				◎		●		●	●				
	肢体不自由児の心理・生理・病理	2					2				◎		●		●	●		●		
	病弱児の心理・生理・病理	2					2				◎		●		●	●			●	
	特別支援教育課程論	2						2			◎		●		●	●			●	●
	知的障害児教育	2			2						◎		●		●	●		●		●
	肢体不自由児教育総論	2					2				◎		●		●	●		●		●
	病弱児教育総論	2					2				◎		●		●	●		●		●
	特別支援教育指導法	2						2			◎		●		●	●			●	●
	視覚障害教育総論	1				1					◎		●		●	●			●	●
	聴覚障害教育総論	1				1					◎		●		●	●		●		●
	重複障害児教育総論	1					1				◎		●		●	●		●		●
	LD・ADHD等教育総論	1					1				◎		●		●	●		●		●
	自閉症児等教育総論	1					1				◎		●		●	●		●		●
	教育実習(特支)事前事後指導	1							1		◎		●		●	●		●		◎
	教育実習(特支)	2							2		◎		●		●	●		●		●
ゼミナール	子ども教育入門ゼミ	2	◎	2								●		◎						
	子ども教育プレゼミ	2	◎		2							●		◎						●
	子ども教育専門ゼミⅠ	2	◎			2						●		◎						●
	子ども教育専門ゼミⅡ	2	◎				2					●		◎						●
卒業研究	卒業研究	4	◎						4			●		◎						●
	単位合計	234		14	27	36	42	46	34	20	15									

【カリキュラム表記の見方】  
履修区分：履修区分の◎は必修科目、無印は選択科目（選択必修科目を含む）を表す。  
資格区分：「保育」は保育士、「幼免」は幼稚園教諭、「小免」は小学校教諭、「特支」は特別支援学校教諭の資格区分とし、資格に必要な科目を示す。  
★は必修科目、☆は選択科目（選択必修科目を含む）を表す。  
資格取得に際しては、この表と別に定める履修要項に従い履修すること。

注1 必修科目、選択科目から修得した単位の合計が96単位以上なければならない。